

埼玉県管理河川における 河川整備計画の点検について

令和2年1月26日

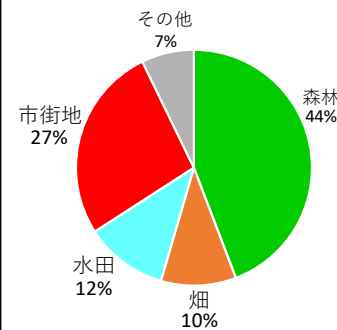
埼玉県

流域の概要(荒川水系荒川中流右岸ブロック)

- 本ブロック内の河川は山間部の溪流から平野部のゆったりした流れまで、多様な河川環境が存在する。
- 秩父山地や丘陵地から荒川低地へと流れ、最終的に和田吉野川、市野川、入間川の3川となって荒川に合流している。
- 大小様々な河川が流れており、県管理河川は46河川に及ぶ。

土地利用

- ◆流域の土地利用は森林が約44%、市街地が約27%、水田が約12%、畑が約10%となっている(H28)。
- ◆過去50年間では、森林・水田が減少し宅地と畑が増加しており、相対的に市街地化が進んできている。



気象・気候特性

- ◆夏は高温多湿、冬は低温乾燥の太平洋岸性気候である。
- ◆年間の平均気温は15°C程度で、季節に応じて5~25°Cの範囲内で変動する。
- ◆年間の総雨量が900~1,500mm程度と全国平均に比べて少ない。梅雨や台風の影響により夏に多く、冬に少ない傾向がある。

地形特性

- ◆ブロック西部の山地は秩父山地の一部をなしており、ブロックの西端には1,000m未満の峰が連なっている。
- ◆秩父山地の東端に接する形で、比企丘陵、岩殿丘陵、毛呂山丘陵、高麗丘陵が半島状に東に突き出し、さらにこれら丘陵の東側縁辺部に東松山台地、入間台地が分布している。
- ◆ブロック東部に広がる平地は関東平野の一部をなす荒川低地で、関東平野の西北端に位置している。

- ◆荒川中流右岸ブロックの地域概要
面積: 約920km²(県全体の約1/4)
ブロック内人口: 約84万人(H27時点) 県人口の約12%
ブロック内市町村: 21市町村

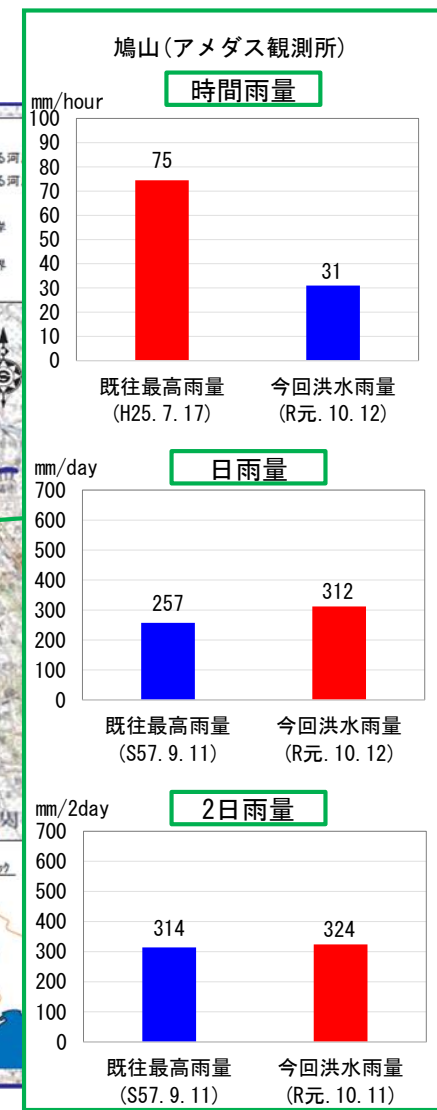
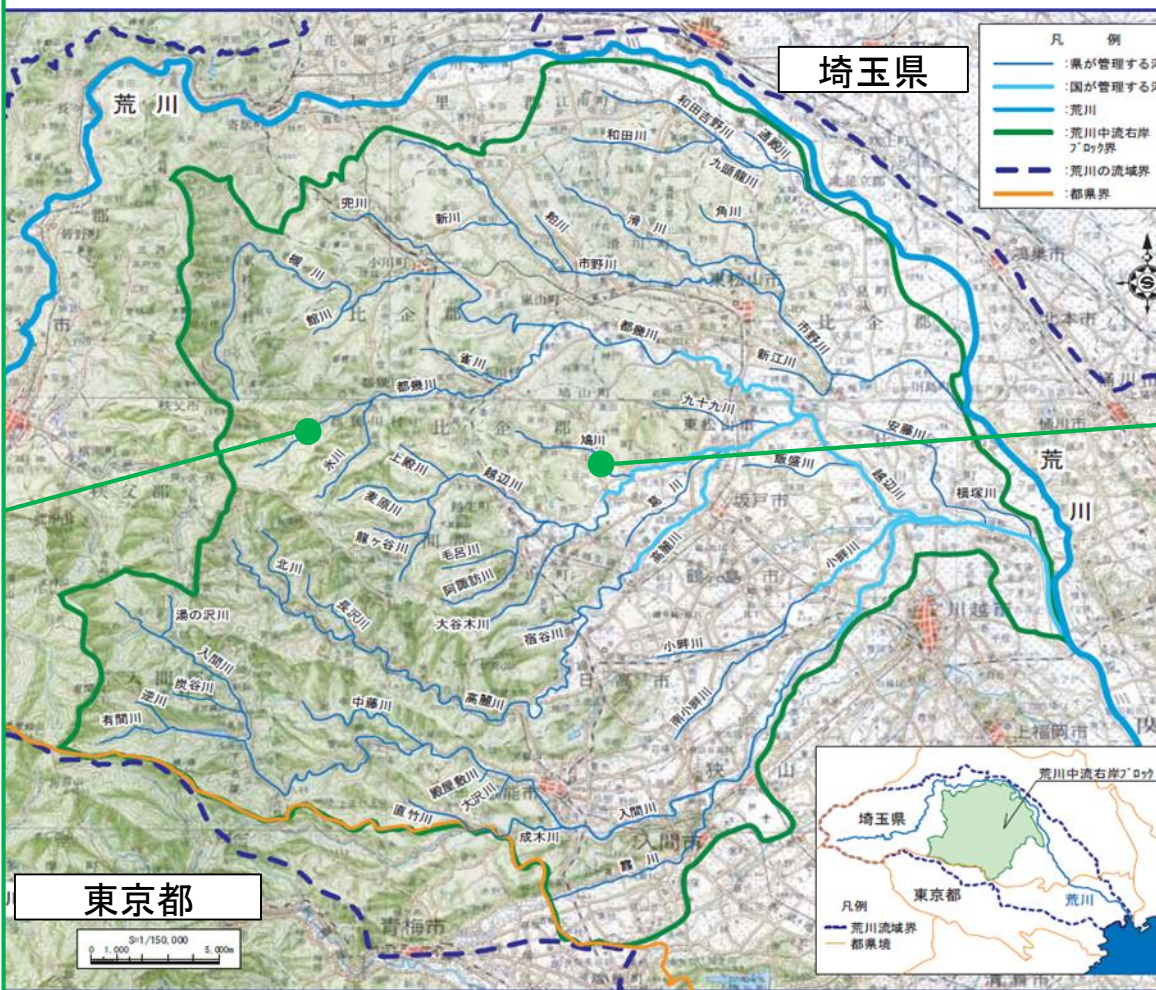
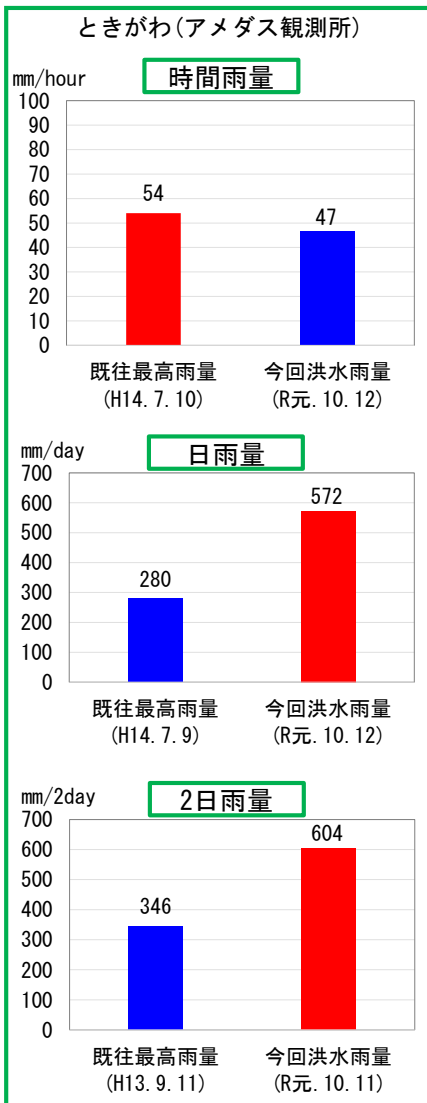


令和元年10月台風19号の概要(荒川水系荒川中流右岸ブロック)

(1) 降雨状況

本ブロック内の、ときがわアメダス観測所・鳩山アメダス観測所(気象庁)において、日雨量、2日雨量とも観測史上最高雨量を観測した。

既往最高雨量と今回洪水雨量の比較

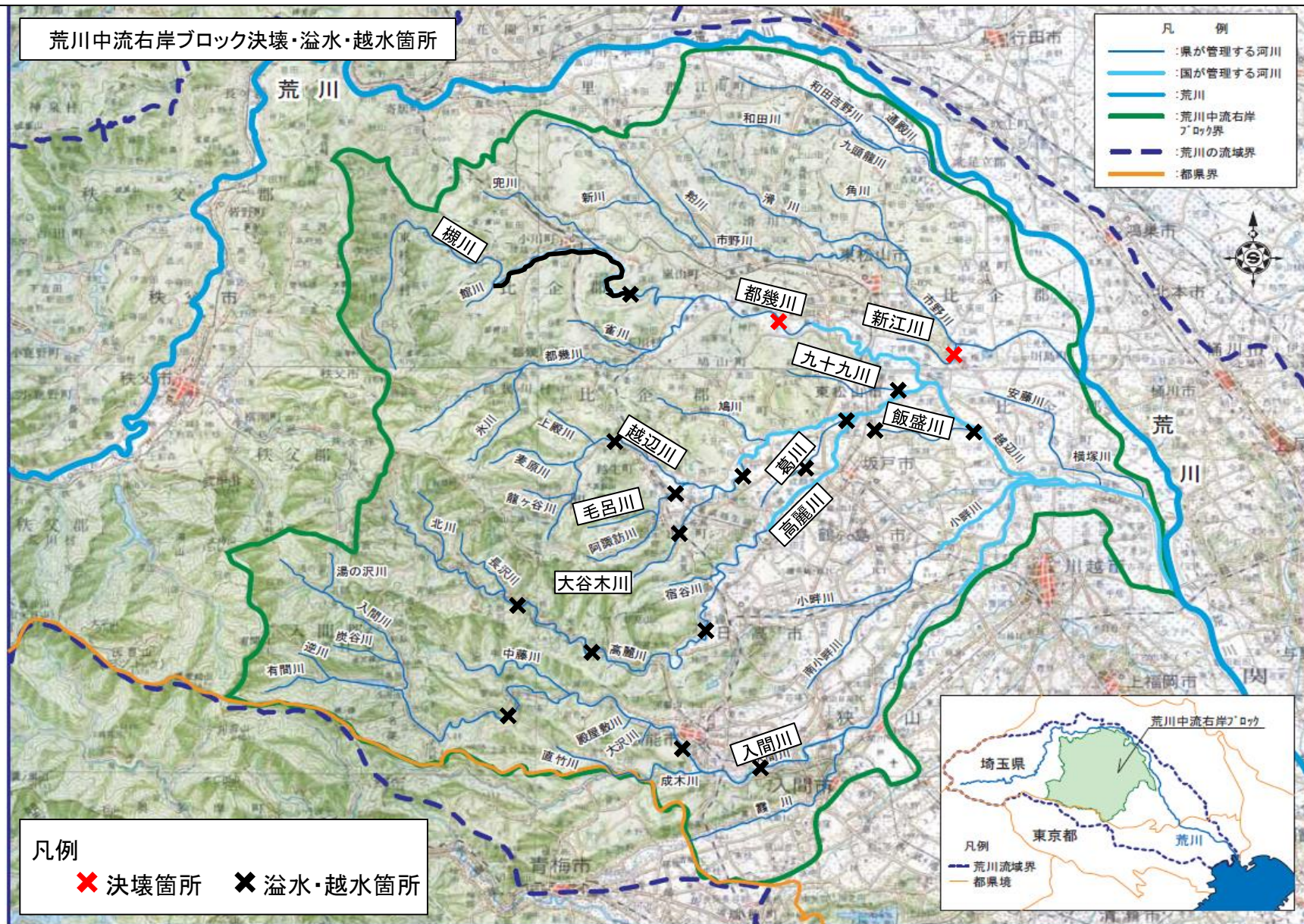


※令和元年10月洪水に関する数値は速報値であり、今後の精査により変更する可能性があります

令和元年10月台風19号の概要(荒川水系荒川中流右岸ブロック)

(2) 決壊・溢水・越水状況

本ブロック内では、2箇所が決壊、16箇所で溢水・越水した。



※槻川は、連続した広範囲での溢水のため1箇所としてカウント

令和元年10月台風19号の概要(荒川水系荒川中流右岸ブロック)

(3) 決壊状況【1/2】(都幾川)

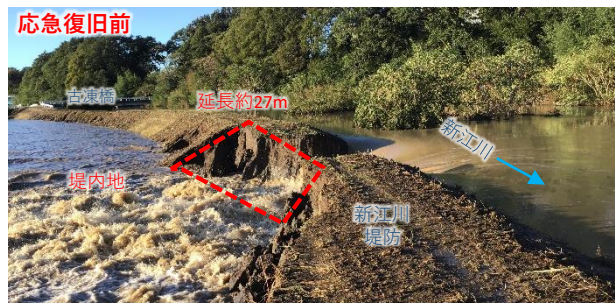
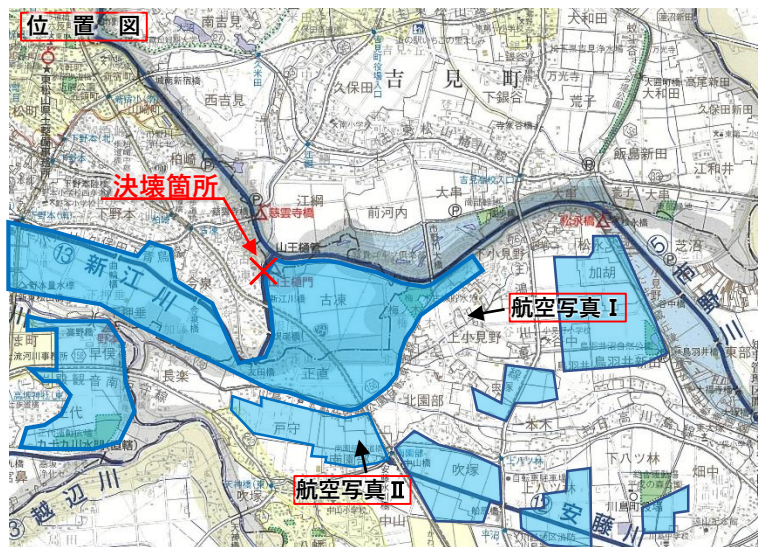
都幾川では神戸大橋上流右岸で堤防が幅約30mに渡り決壊し、10月19日に応急復旧が完了した。



令和元年10月台風19号の概要(荒川水系荒川中流右岸ブロック)

(3) 決壊状況【2/2】(新江川)

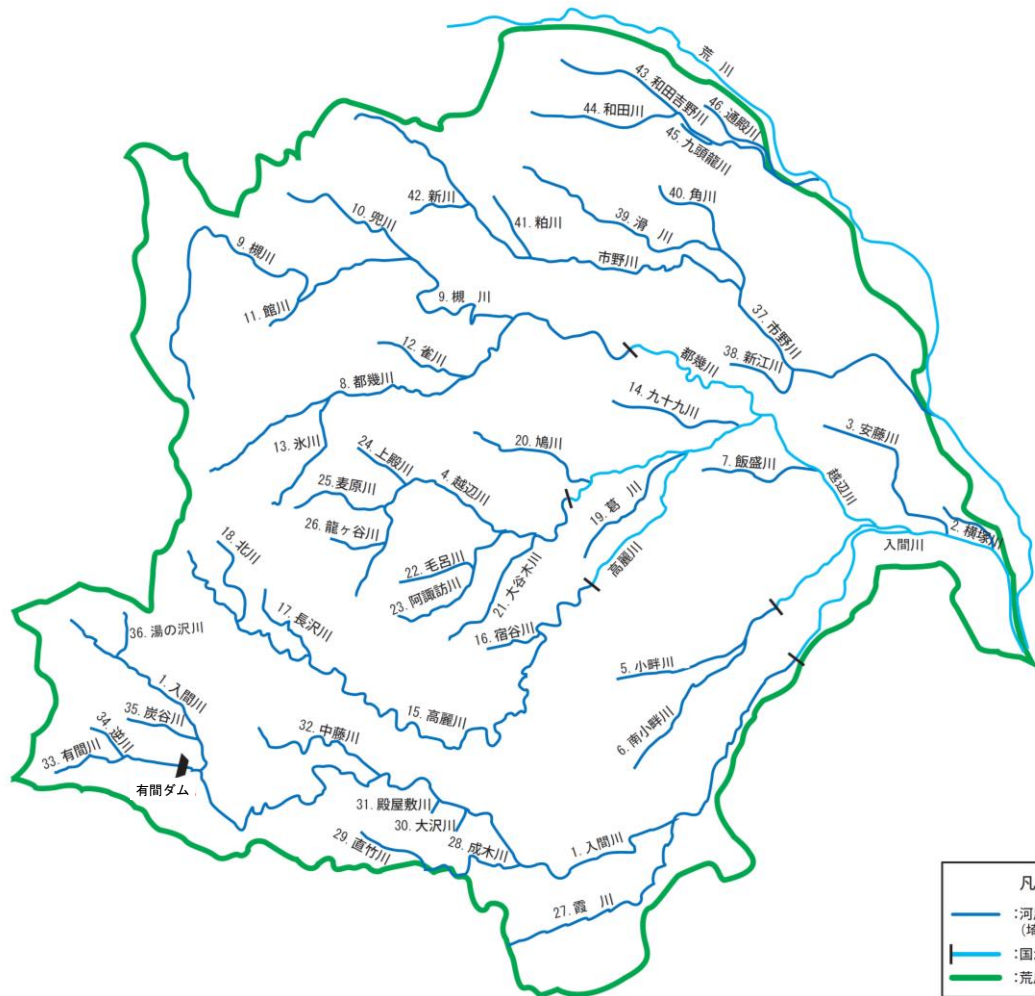
新江川では市野川合流点付近の右岸で堤防が幅約27mに渡り決壊し、10月17日に応急復旧が完了した。



荒川水系荒川中流右岸ブロック河川整備計画の概要

(1) 現河川整備計画の対象区間・計画対象期間・河川整備の目標

- 河川整備計画の対象とする区間は、荒川中流右岸ブロックにおける一級河川のうち、埼玉県が管理する全ての区間とする。
- 河川整備計画の計画対象期間は、概ね30年間とする。
- 上流部を中心とした十分な流下能力を有する区間を除き、改修が必要な平地部の区間では、時間雨量50mm程度の降雨を河川整備の目標とする。









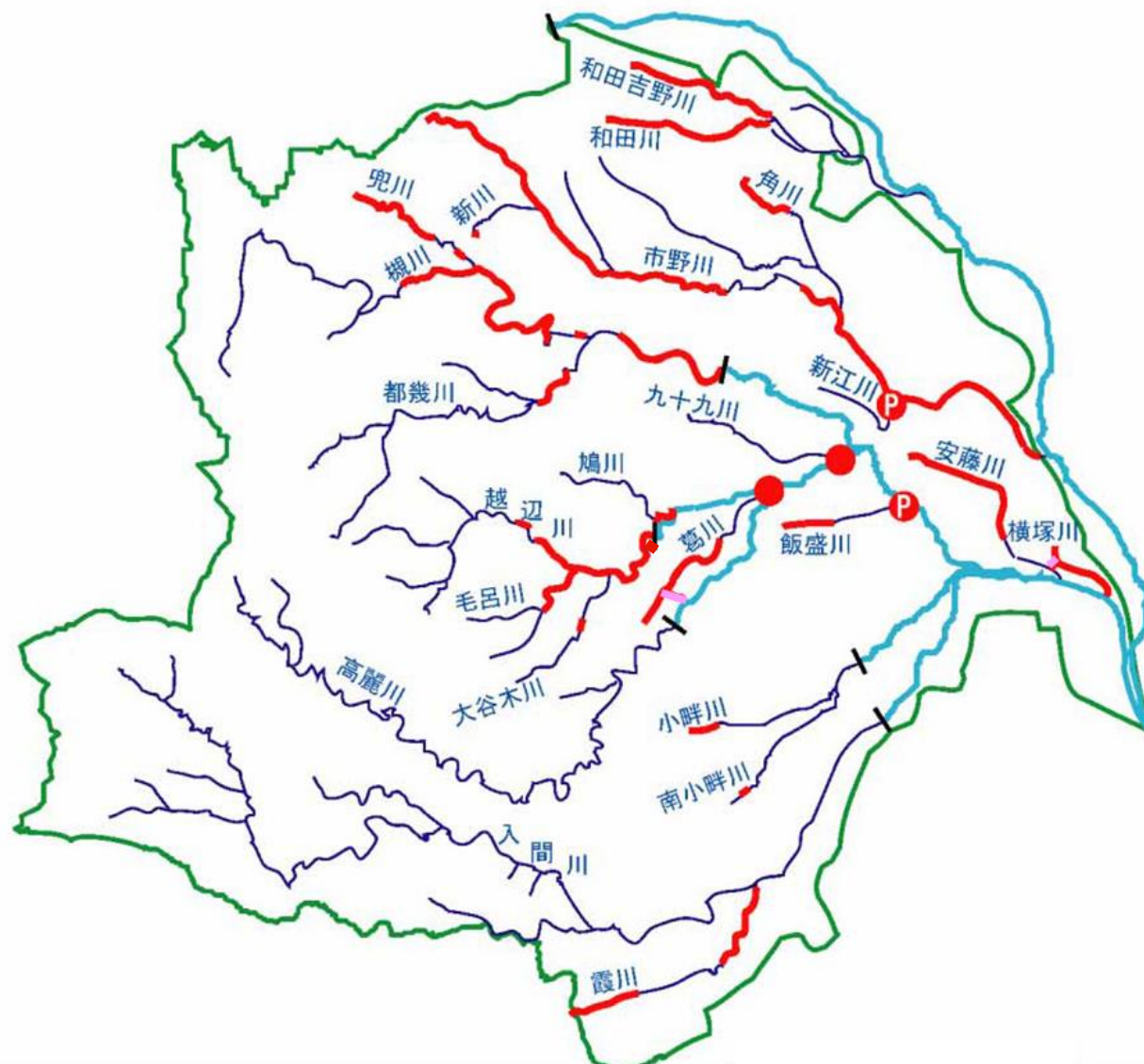
番号	一次支川	二次支川	三次支川	四次支川	五次支川	流域面積 (km ²)	河川延長 (km)
1	入間川					224.40	36.98
2		横塚川				5.10	2.48
3		安藤川				16.47	6.69
4		越辺川				65.22	14.50
5			小畔川			37.75	8.06
6				南小畔川		11.34	6.50
7			飯盛川			23.54	4.35
8			都幾川			153.54	16.70
9				槻川		86.43	24.90
10					兜川	16.87	7.35
11					館川	8.78	2.10
12				雀川		8.40	6.30
13				氷川		8.28	4.35
14			九十九川			9.36	5.60
15	入間川	越辺川	高麗川			95.93	41.60
16				宿谷川		3.94	3.84
17				長沢川		8.26	4.30
18				北川		9.58	4.70
19			葛川			13.30	7.89
20			鳩川			20.16	5.10
21			大谷木川			7.90	6.52
22			毛呂川			10.94	4.29
23				阿諏訪川		4.20	1.48
24			上殿川			3.41	2.50
25			麦原川			6.00	3.50
26			竜ヶ谷川			4.33	2.50
27		霞川				26.80	15.80
28	入間川	成木川				15.91	4.60
29			直竹川			11.10	4.80
30		大沢川				0.87	0.96
31		殿屋敷川				0.62	0.51
32		中藤川				15.65	7.40
33		有間川				17.24	9.10
34			逆川			3.81	1.80
35		炭谷川				3.23	2.60
36		湯の沢川				2.77	1.90
37	市野川					146.60	34.00
38		新江川				10.93	4.42
39		滑川				39.70	16.00
40			角川			5.50	3.80
41		粕川				6.45	3.50
42		新川				4.01	2.60
43		和田吉野川				34.27	11.20
44		和田川				14.36	9.00
45		九頭竜川				4.32	1.70
46	通殿川					7.80	3.61

荒川水系荒川中流右岸ブロック河川整備計画の概要

(2) 現河川整備計画の整備メニュー

洪水を安全に流下させるため、河道改修や堤防補強、放水路整備、排水機場の設置を行う。

凡例	
	国が管理する区間
	県が管理する区間
整備メニュー	
	施行区間(河道改修、堤防補強)
	施行区間(放水路整備)
	合流点処理
	排水機場



河道改修

- ◆ 堤防の嵩上げや築堤、河道拡幅等の河道改修を行う

堤防補強

- ◆ 堤防断面が不足している箇所について堤防を補強する

放水路整備

- ◆ 築堤、河道拡幅等の河道改修と併せて放水路を整備し、下流部の洪水流量を軽減する

合流点処理

- ◆ 合流点の整備について、合流先河川を管理する国と協力し、浸水被害の解消を図る

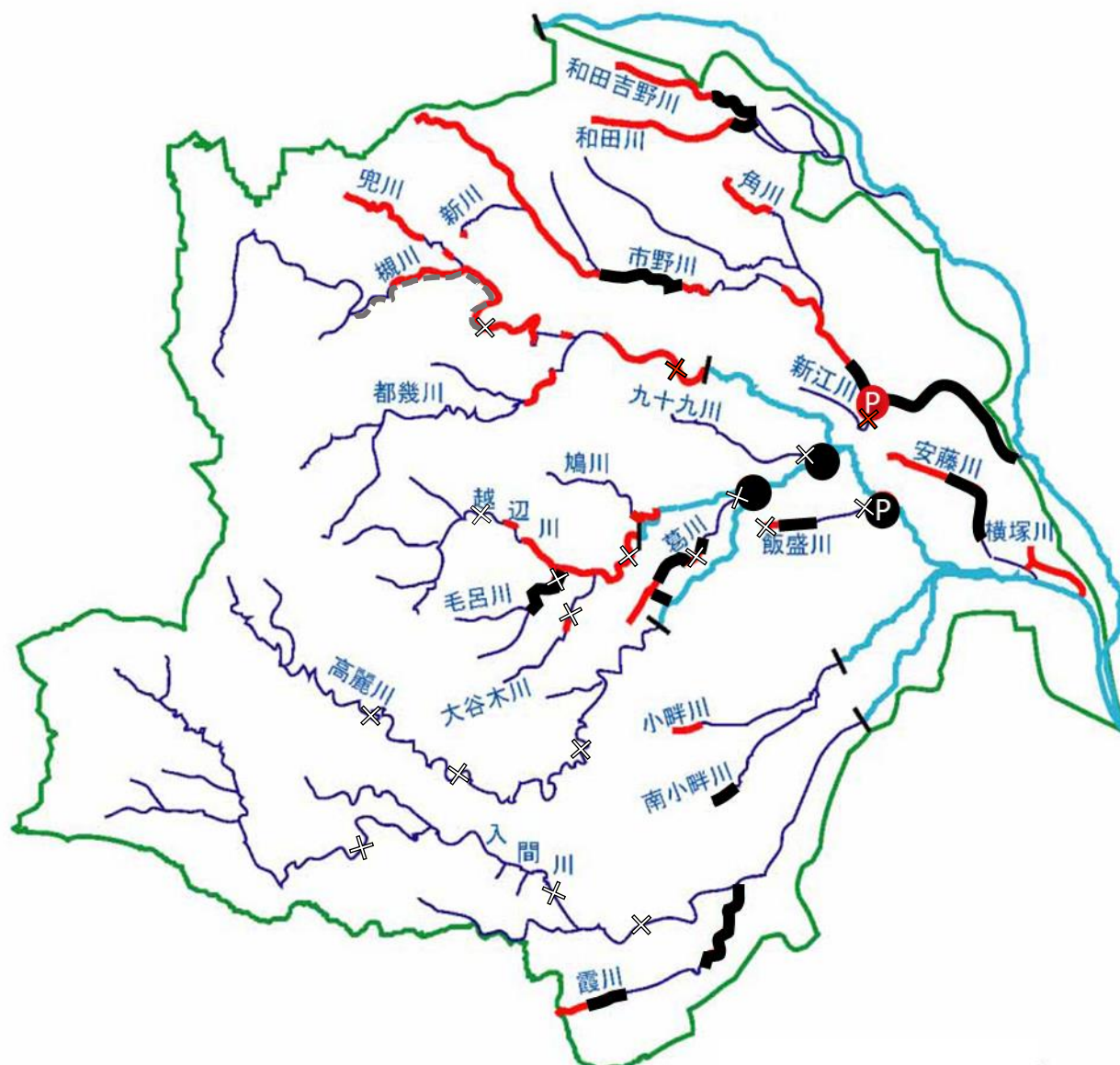
排水機場設置

- ◆ 合流先河川との合流点に樋門及び排水機場を整備する

荒川水系荒川中流右岸ブロック河川整備計画の概要

(3) 現河川整備計画の進捗状況

整備計画策定後(H18.2)以降の整備状況



凡例	
—	国が管理する区間
—	県が管理する区間
整備予定	
—	施行区間(河道改修、堤防補強)
—	施行区間(放水路整備)
●	合流点処理
P	排水機場
整備済み	
—	河道改修、堤防補強、放水路
●	合流点処理
P	排水機場
決壊・溢水・越水箇所	
X	決壊箇所
X —	溢水・越水箇所

※槻川は、連続した広範囲での溢水のため1箇所としてカウント

- ・河道改修等 約 49 %
- ・合流点処理 2 / 2
- ・排水機場 1 / 2

※平成30年度末時点

平成28年3月 荒川水系河川整備計画 策定

令和元年12月 荒川水系河川整備計画 点検(今回)

社会情勢の変化(近年の洪水等による災害の発生の状況等)

- **今回洪水において、荒川水系入間川の菅間地点(主要地点)では、現行整備計画目標洪水(H11.8)における流量を上回った。**
 - 今回洪水では3日雨量(流域平均)417mmを記録し、H11.8洪水における418mmと同等規模の降雨量であった。
 - また、最大流量は約4,100m³/sを記録し、H11.8洪水における約3,300m³/sを上回った。

河川整備の進捗・実施状況

- 河川改修事業を継続して実施中である。

- **令和元年10月台風19号の被害状況等を踏まえ、河川整備計画目標流量を上回った支川入間川流域における新しい治水計画検討の必要がある。**
- **荒川本川においては、整備計画に定められた河川整備を継続して実施する必要がある。**

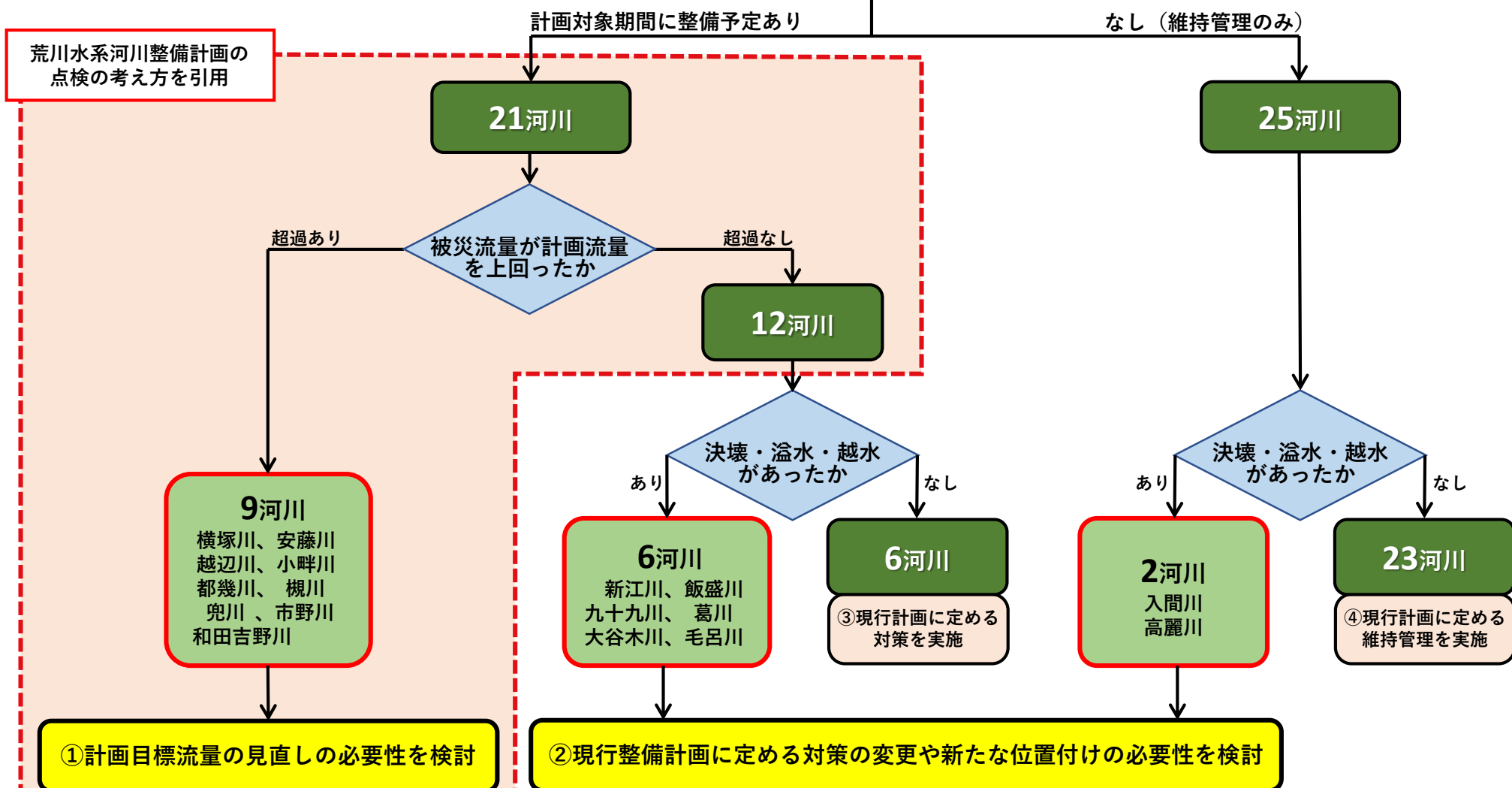
河川整備の実施

河川整備計画の点検

(2) 点検手法

荒川中流右岸ブロックの県管理河川について、社会情勢の変化等を踏まえた国の点検を参照し下記のフロー図により現行の河川整備計画の点検を行った。

46河川（荒川中流右岸ブロックの対象河川）



平成18年2月 荒川中流右岸ブロック河川整備計画策定

令和2年1月 荒川中流右岸ブロック河川整備計画点検

社会情勢の変化(近年の洪水等による災害の発生の状況等)

- 今回の洪水では、流域内にある気象庁の雨量観測所2箇所で、日雨量、2日雨量とも既往最大雨量を上回る降雨があった。
- ブロック内の県管理河川9河川において、今回の被災流量が計画流量を上回った。
(例：都幾川 河川整備計画流量 720 m³/s 今回の被災流量 1,347 m³/s)
- 被災流量が計画流量を下回った河川等においても、6河川で決壊・溢水・越水が発生した。

河川整備の進捗・実施状況

- 河川改修や維持管理を実施中である。
- 被災流量が計画流量を上回った河川については、計画目標流量の見直しの必要性について確認を要する。
- 被災流量が計画流量を下回ったものの、決壊・溢水・越水が発生した河川については、現行計画に定める対策を変更する必要性について確認を要する。
- 整備対象期間に整備予定がないものの、溢水・越水が発生した河川については、新たな対策を位置付ける必要性の確認を要する。
- その他の河川においては、現行計画に位置付けている対策又は維持管理を引き続き実施する必要がある。

河川整備計画の点検

(4) その他のブロックの点検結果

- 被災流量が計画流量を上回った河川については、計画目標流量の見直しの必要性について確認を要する。
- 被災流量が計画流量を下回ったものの、決壊・溢水・越水が発生した河川については、現行計画に定める対策を変更する必要性について確認を要する。
- なお、以前から計画変更に向けて検討を進めている河川については、引き続き、現行計画の目標達成に必要な対策の検討を進める。
- その他の河川においては、現行計画に位置付けている対策又は維持管理を引き続き実施する必要がある。

ブロック名	点検対象河川	決壊 溢水 越水 河川	① 計画目標流量の見直し の必要性を検討	② 現行計画に定める対策 の変更の必要性を検討	③ 現行計画に定める対策 を実施	④ 現行計画に定める 維持管理を実施
中川・綾瀬川ブロック	34	7	2 元荒川、備前堀川	5 綾瀬川、赤堀川、忍川 姫宮落川、庄兵衛堀川	21	6
小山川ブロック	18	3	1 福川	2 女堀川、藤治川	7	8
荒川左岸ブロック	11	3	0	3 芝川、菖蒲川 江川 〔以前から変更に向けた検討を実施中〕	7	1
新河岸川ブロック	11	3	0	3 新河岸川、柳瀬川、不老川	6	2
荒川上流ブロック	28	3	0	3 荒川、赤平川、横瀬川	2	23
荒川中流右岸ブロック	46	11	9	8	6	23
合計	148	30	12	24	49	63

第8回埼玉県河川整備策定専門会議

埼玉県管理河川の河川整備計画の点検



第9回埼玉県河川整備策定専門会議

荒川中流右岸ブロックをはじめ、県管理河川に関する各河川の河川整備計画変更方針(案)の提示

【議事内容(案)】

- ・変更対象とする河川の考え方
- ・河川整備計画該当河川の計画外力の設定の考え方
- ・計画対象期間の設定の考え方
- ・目標達成のために必要可能な各種対策メニューの立案の考え方
- ・立案する各種対策メニューの評価の考え方
- ・目標レベルの維持に資する対策の基本的な考え方

埼玉県管理河川における
河川整備計画の点検について
(参考資料)

令和2年1月26日

埼玉県

流域の概要(荒川水系荒川中流右岸ブロック)

過去の主な災害

- 荒川中流右岸ブロックでは、主に東部の低平地においてたびたび浸水被害が生じている。至近20年間で特に被害の大きかった洪水は、昭和57年9月洪水、平成11年8月洪水である。
- 水害の形態は、河道の流下能力不足による溢水その他、支川合流点における本川から支川への逆流による溢水や支川から本川への排水不良による内水が主な原因であった。

H11.8 熱帯低気圧



越辺川と飯盛川の合流点付近



坂戸市浸水状況

S57.9 台風18号



和田吉野川と通殿川の合流点付近



過去の主な水害

洪水発生日	総雨量	浸水面積 (ha)	浸水戸数 (戸)	要因
S57. 9. 10~12	332mm	5,354	2,102	台風18号
H2. 9. 24~10. 1	185mm	283	53	台風20号
H2. 11. 27~12. 3	273mm	1,378	148	台風28号
H5. 8. 26~27	164mm	108	34	台風11号
H10. 8. 27~30	320mm	401	30	台風4号
H10. 9. 15~16	199mm	373	15	台風5号
H11. 8. 12~14	419mm	1,048	705	熱帯低気圧
H12. 7. 7~9	140mm	161	17	台風3号
H13. 9. 8~11	63mm	51	0	台風15号
H14. 7. 9~12	279mm	155	8	台風6号
H14. 9. 30~10. 3	177mm	270	38	台風21号
H19. 9. 5~7	238mm	1	5	台風9号
H23. 8. 31~9. 3	152mm	0.8	6	台風12号
H28. 8. 21~23	190mm	53	73	台風9号
H29. 10. 20~23	262mm	1,668	39	台風21号
R01. 10. 10~13	384mm	3,755	1,720	台風19号

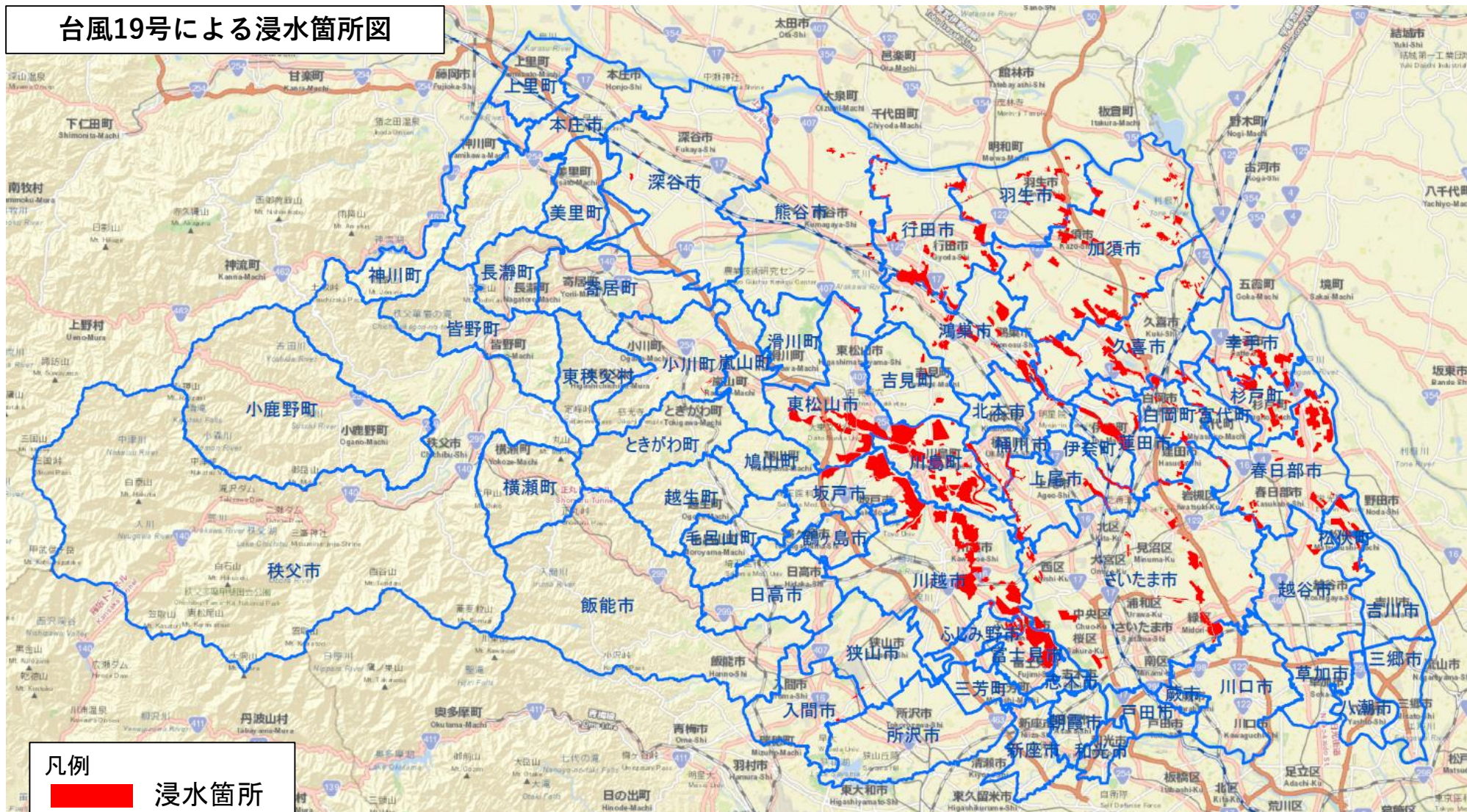
※令和元年10月洪水に関する数値は速報値であり、今後の精査により変更する可能性があります
 ※令和元年10月洪水の浸水面積・浸水戸数は一部、他ブロックのものも含む

被害状況

(1) 浸水状況

県内で約10,317haの浸水被害が発生(衛星写真等から判別し集計したもの 調節池、内水氾濫等を含む)

台風19号による浸水箇所図

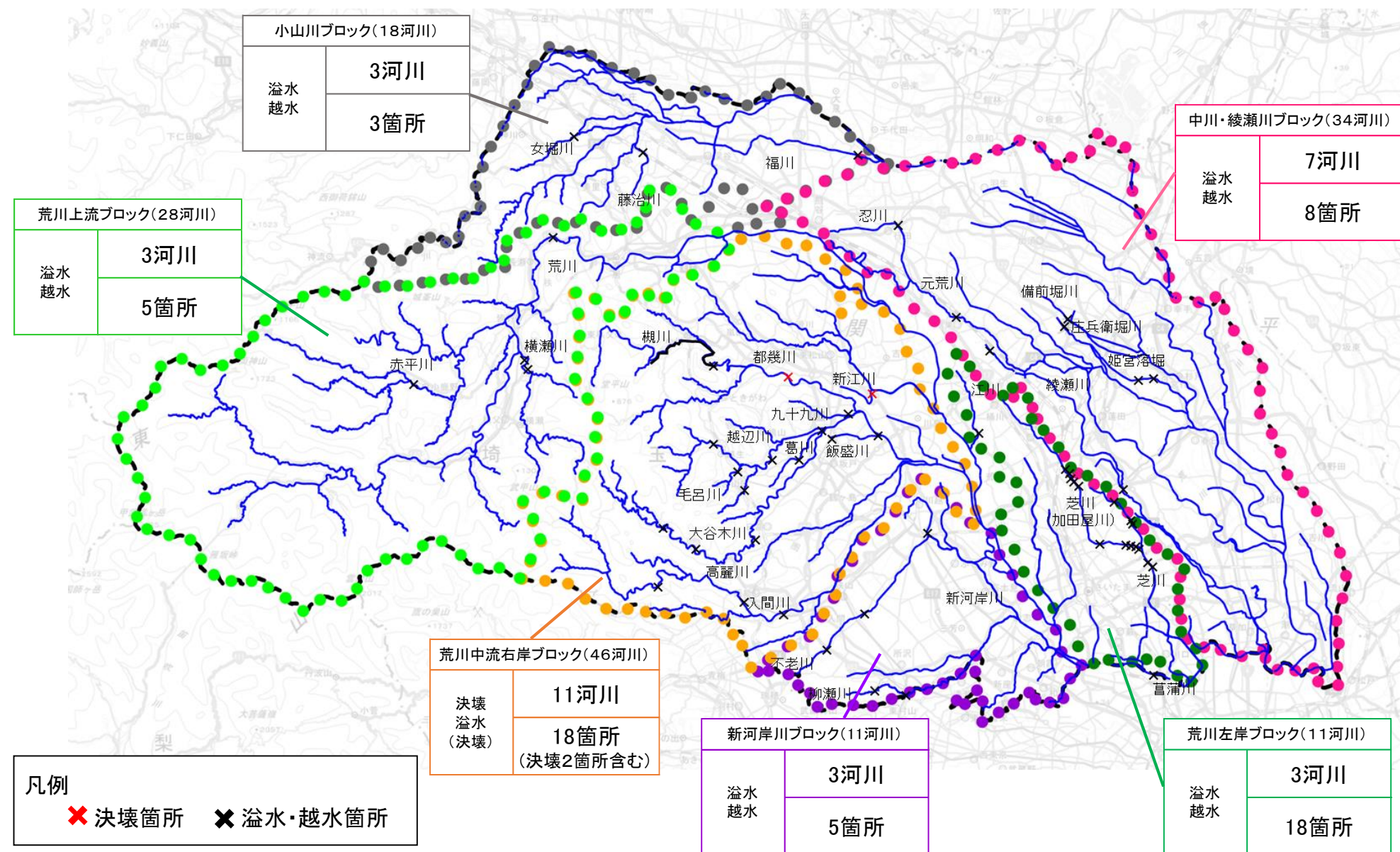


※衛星画像 2019年10月13日10時28分観測 (及びその後の現地調査資料に拠るものを含む)

被害状況

(2) 決壊・溢水・越水 57箇所

県管理河川の2箇所が決壊、55箇所で溢水・越水が発生。



各河川の点検

荒川水系荒川中流右岸ブロック内の計画対象期間に整備予定がある21河川において、令和元年10月台風19号による被災流量と計画流量との比較を実施。

No.	河川名	流量(m ³ /s)			決壊・溢水・越水の有無
		計画流量	被災流量(再現)	計画超過の有無	
1	越辺川	400	579	有	有
2	都幾川	720	1,347	有	有
3	槻川	480	825	有	有
4	横塚川	20	36	有	無
5	安藤川	80	81	有	無
6	小畔川	200	244	有	無
7	兜川	130	161	有	無
8	市野川	170	309	有	無
9	和田吉野川	190	256	有	無
10	飯盛川	130	122	無	有
11	九十九川	75	41	無	有
12	葛川	50	43	無	有
13	新江川	60	50	無	有
14	大谷木川	85	44	無	有
15	毛呂川	110	60	無	有
16	南小畔川	95	62	無	無
17	鳩川	200	112	無	無
18	霞川	210	144	無	無
19	角川	45	37	無	無
20	新川	50	27	無	無
21	和田川	80	75	無	無

※令和元年10月洪水に関する数値は速報値であり、今後の精査により変更する可能性があります